

山部泰司 —多・遠近・風景画展—



Three thousand flows on the hill 194×259cm

ギャラリーあしやシュールでは9月5日（土）より、山部泰司による「-多・遠近・風景画展-」展を開催致します。

様々な時間の流れと空間が重層的にたちあられ、消失する多遠近風景画。
対立する概念や空間を内包しながらも、その対立構造ではとらえられない地平を表現しています。
作品は、見るものと見られるものの相互的な編集過程であり、新たな世界観の生まれる器のような動的な絵画空間を追求しています。（山部泰司）

ギャラリートーク
山部泰司×吉川神津夫（徳島県立近代美術館学芸員）
「関西 80 年代から現在へ」
9月12日（土） 16:00-17:30

山部泰司は1958年岡山県生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科修了後、現在京都を拠点に活動。「FLOW 水は何をつなぎ、何処へ行くのか」（京都市立芸術大学ギャラリー@KCUA、2014年）「悦ばしき知覚- 絵画の深さと明晰さについて」（ギャラリー16 京都、2013年）「2kw 変電所計画 絵画のリズムとノイズ」（2kw gallery 大阪、2011年）「京都・洋画の現在」（京都文化博物館 京都、2003年）「CONTEMPLATIONS」（WORLD WORKS FINE ART カリフォルニア アメリカ、1997年）など国内外に活動の場を広げている。また、最近の個展として「山部泰司展～変容する絵画～」（奈義町現代美術館 岡山、2008年）（ギャラリーモーニング 京都、2012、15年）（LADS GALLERY 大阪、2005～07、09、10、12～14年）等がある。